

第15回奈良教育大学博物館実習成果報告展

現代美術展

12/12 → 1/28  
13:30~17:00

休館日：月・土・日・祝日・12月25日～1月2日・15日・16日  
入館料：無料

アクセス：近鉄奈良駅・JR奈良駅より奈良交通市内循環バス「高畑町」下車すぐ  
お問い合わせ先：〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学教育資料館

TEL 0742-27-9297 Mail siroukan@nara-edu.ac.jp



# 現代に生きる〇〇展

## は じ め に

この展覧会は学芸員を目指す奈良教育大学生が自ら企画し展示したものです。今年で 15 回を数えます。今回は次の 4 つのコーナーからなっています。

- 1 回してひらく小さな世界 ~ガチャガチャの歴史といま~
- 2 ようこそ！しかけ絵本の街へ
- 3 現代に生きる茶文化
- 4 文化財保存のこれまでとこれから

「現代」という時代に、自分たちが意識的にあるいは無意識的に向き合っているテーマを抽出した展覧会と言えます。「現代」は否応なしに私たちを飲み込んでゆきます、時に強引に、時にさりげなく。これに対し真正面からぶつかることもあれば、うまくいなすこともあるでしょう。いずれにせよ、そこには彼らが鋭く感知した「現代」が浮かび上がってくるはずです。そこをうまく汲み取ってご覧いただければ幸いです

2025 年 12 月 12 日

博物館実習担当

巽 善信

# 回してひらく小さな世界 ～ガチャガチャの歴史といま～

## I はじめに

誰もが一度は回したことのある「ガチャガチャ」。小さなカプセルの中には、何が入っているのか分からないワクワクが詰まっています。さらに近年ではミニチュア模型やリアルな食品サンプル、さらにはアートや社会問題を題材としたものまで登場し、「コレクション」「偶然性」「小さな世界を手に入れる喜び」といったガチャガチャ特有の魅力が注目されています。

ガチャガチャの歴史を振り返ると、その内容は時代ごとの社会的背景や流行を反映して多様化しています。初期の単純な玩具から、キャラクター商品、ミニチュア模型、動植物をモチーフにしたリアルフィギュア、さらにはアート性やユーモアを重視した商品まで、表現の幅は年々広がっています。

本企画では、ガチャガチャの誕生から現在に至るまでの歴史を概観するとともに、直近 4 か月以内に発売された最新のガチャガチャを分類し、現代のガチャガチャ文化がどのような傾向を示しているのかを明らかにすることを目的とします。そして、ガチャガチャが持つ文化的・社会的意義を再考し、身近な玩具に潜む多様な価値について考えていきます。

## II ガチャガチャの歴史

①誕生 現在のガチャガチャの原型となるベンディングマシンとカプセルトイはアメリカで誕生しました。アメリカから輸入して東京都内に設置された機械が日本のカプセルトイ自販機の発祥と言われています。これを 1965 年に日本のペニイ商会(現:株式会社ペニイ)が 輸入し、店先に設置していききました。



この頃のカプセルトイ自販機はまだ 100 円玉に対応しておらず、今のようなキャラクターを利用した商品はまだ多くはありませんでした。

・当時のガチャガチャは 10 円、20 円が主流で、乗り物やロボット の形をした消しゴムやシンプルなプラスチックのおもちゃが入っていました。

### ②ガチャガチャのヒット

その後、1977 年に「バンダイ」がガチャガチャ業界への参入します。バンダイの参入は業界を震撼させた大ニュースで、70～80 年代のロボットアニメブームを背景に、強力なコンテンツをひっさげて、あっという間にヒットメーカーに踊り出しました。

さらにバンダイは、ガチャガチャ史上空前の大ヒット商品となった「キン肉マン消しゴム」を生み出します。いわゆる「キン消し」というものです。1983 年に発売を開始するとまたたく間に大人気となり、子供たちのコレクター魂に火をつけました。1983～1987 年に発売されたレギュラー版の累計販売数は約 1 億 8000 万個にも及び、この「キン消し」ブームが牽引する形で、ガチャガチャ業界全体が盛り上がりを見せていくことになります。

「キン消し」はカプセルに 3 体入って 100 円という値段で販売されていました。



この頃のガチャガチャの値段は、20 円から 100 円への移行期で、この「キン消し」が決定打となって 100 円ガチャが主流となります。バンダイはこの後も、1985 年に発売を開始した「SD ガンダム」シリーズをヒットさせるなど、ガチャガチャ業界を席巻していくことになります。

1994 年には、バンダイが販売を開始した高品質シリーズ「ガシャポン HG」シリーズが、翌 1995 年の『新世紀エヴァンゲリオン』のブームと相まって一気に開花し、ガチャガチャが高品質・高価格路線へ向かうきっかけを作りました。こうして、単なる海外のおもちゃから、日本独自のアニメ、キャラクターを用いたガチャガチャが主流となっていきました。

この後、バンダイのみならず、玩具業界の大手トミーの子会社であるユージン（現・タカラトミーアーツ）も参入し、ますますガチャガチャ業界が盛り上がっていきます。

### ③ガチャガチャ？ガシャポン？

現在、ガチャガチャはガチャやガシャポン、ガチャポンなど多くの呼び名が存在します。他にも「カプセルトイ」という名称もあります。実はカプセルトイという名称は、カプセルの入ったおもちゃ自販機の総称のことを指します。

なぜそのような呼び方が複数あるのでしょうか。その理由は、ガチャガチャ業界の商標登録が関係しています。

例えば、株式会社バンダイは「ガシャポン」、「ガチャガチャ」、「ガチャポン」、「ガシャガシャマシーン」という言葉を商標登録しています。

また、株式会社タカラトミーアーツは「ガチャ」という言葉を商標登録しています。



### Ⅲ出品リスト

#### a. アニメ、キャラクター

えもふいぐ！たまごっち	クレヨンしんちゃん まちぼう け6	クレヨンしんちゃん ボーち ゃん あそーとコレクション	【フラットガシャポン】アイカ ツ！クリアファイル
			
発売時期:2025 年 10 月 第 2 週 価格:300 円 種類数:全 5 種	発売時期:2025 年 10 月 第 3 週価格:300 円 種類数:全 5 種	発売時期:2025 年 8 月 第 2 週 価格:300 円 種類数:全 8 種	発売時期:2025 年8月 第 4週 価格:300 円 種類数:全8種

クレヨンしんちゃん ビデオ テープミニチュアチャーム コレクション	パンドろぼう アクリルカラ ビナ	たまごっちのプチプチおみ せっち グッズコレクション	アイカツ！×プリパラ カプ セルラバーマスコット
			
発売時期:2025 年 7 月 第 2 週 価格:500 円 種類数:全 5 種	発売時期:2025 年 9 月 価格:300 円 種類数:全 5 種	発売時期:2025 年 10 月第 2 週 価格:300 円 種類数:全 8 種	発売時期:2025 年9月 第 2週 価格:300 円 種類数:全 12 種

たまごっち シャカシャカチャームコレクション	たまごっち スイングケース2	サンリオキャラクターズ ミニランチBOX キーホルダー(全6種)	アイカツ!×プリパラ だれでもアクリルチャーム1
			
発売時期:2025 年 5 月第4 週 価格:300 円 種類数:全 6 種	発売時期:2025 年 1 月第4 週 価格:300 円 種類数:全 5 種	発売時期:2025 年 1 月第4 週 価格:300 円 種類数:全 5 種	発売時期:2025 年 10 月第 5 週 価格:300 円 種類数:全 12 種

b. ネタおもしろ

d. 生き物

相席食堂 ちょっと待てい!!ボタン	いきもの大図鑑レプティ ニシアフリカトカゲモドキ	真工房デフォキャラシリーズ【ヒョウモントカゲモドキ】
		
発売時期:2022 年 12 月 第4 週 価格:500 円 種類数:全 6 種	発売時期:2023 年 10 月第 2 週 価格:500 円 種類数:全 5 種	発売時期:2024 年 12 月第 2 週 価格:500 円 種類数:全 6 種



c. ミニチュア(食べ物・生活用品)

DARS ミニチュアチャーム	エステー ミニチュアチャームコレクション	LOTTE マスコットチャーム ～2024 パッケージ～	森永乳業 アイスミニチュアコレクション 4
			
発売時期:2023 年 12 月 第 2 週 価格:300 円 種類数:全 6 種	発売時期:2025 年 3 月第 4 週 価格:300 円 種類数:全 7 種	発売時期:2024 年 12 月 第 2 週 価格:300 円 種類数:全 5 種	発売時期:2025 年 3 月第 4 週 価格:300 円 種類数:全 5 種

森永乳業 ヨーグルトミニ チュアコレクション	たべっ子どうぶつ マスコ ットチャーム	おかめ納豆 ボールチェー ンマスコット	日清のどん兵衛 ミニチュ アチャーム
			
発売時期:2025 年 7 月 価格:300 円 種類数:全 6 種	発売時期:2023 年 7 月 価格:300 円 種類数:全 5 種	発売時期:2023 年 11 月 価格:400 円 種類数:全 4 種	発売時期:2023 年 12 月 第 2 週 価格:300 円 種類数:全 5 種

Ringcolle! ミスタードーナツ3	明治シャカシャカチャーム3	ネスレ キットカットミニチャーム	共親製菓 餅飴ミニシャカシャカチャーム
			
発売時期:2024 年 5 月 第 2 週 価格:300 円 種類数:全 6 種	発売時期:2022 年 11 月 第 2 週 価格:200 円 種類数:全 8 種	発売時期:2024 年 1 月 第 3 週 価格:300 円 種類数:全 5 種	発売時期:2022 年 9 月 第 3 週価格:300 円 種類数:全 5 種

雪印メグミルク ミニチュアチャーム～100 周年記念～	NESCAFE GOLD BLEND ミニシャカシャカチャーム2	ハウス食品 とんがりコーンミニチュアダブルスイング	菓道 太郎さんシリーズミニチュアチャーム
			
発売時期:2025 年 6 月第 2 週 価格:300 円 種類数:全 14 種	発売時期:2025 年 2 月第 2 週 価格:300 円 種類数:全 4 種	発売時期:2023 年 9 月第 2 週 価格:300 円 種類数:全 9 種	発売時期:2023 年 1 月第 2 週 価格:300 円 種類数:全 5 種

#### IV エピローグ

この度は、「回してひらく小さな世界～ガチャガチャの歴史といま～」に足を運んでいただきありがとうございました。

本展ではガチャガチャの誕生、発展そして現代に至る歴史について紹介してきました。しかし、ガチャポンの進化はここで止まることはありません。最新のテクノロジーと社会の変化を取り込みながら、その形態は驚くべき多様化を遂げています。

##### ① 体験の進化：没入と対話

ガチャポンは今、単なるおもちゃを超えたエンターテインメントマシンへと変貌しています。巨大な LED ディスプレイと操舵輪のようなハンドルで物語の世界へ没入させる「ガシャポンオデッセイ」。そして、体験者の脳波を測定し、その瞬間の感情に合ったアイテムを提供する「フィーリングガチャ」。これらは、ハンドルを回す行為そのものが、デジタル技術によってリッチな体験へと昇華されていることを示しています。

##### ② 場所と環境の制約を超えて

物理的な制約も取り払われつつあります。「ガシャポンオンライン」やキャッシュレス決済の普及により、私たちは時間や小銭の有無を問わずアクセスできるようになりました。さらに、街の風景にスマホをかざすと巨大なガチャが出現する「AR ガチャ」のように、バーチャル空間をも遊び場に変えようとしています。一方で、地球環境への配慮も忘れてはいません。カプセルそのものを商品の一部として設計し、ゴミを出さない「カプセルレス」商品は、持続可能な遊びの形として定着し始めています。

##### ③ 言葉の変容：人生のメタファーとして

文化としての浸透は、言語表現にも現れています。「親ガチャ」や「上司ガチャ」といった言葉の誕生です。これらは、自分の努力ではどうにもならない環境や運命を、カプセルの偶然性に例えた現代特有の表現です。一見ネガティブに響くこともありますが、これは「何が出るか分からない」というガチャポンの本質が、私たちの人生観や社会認識に深く根付いた証左でもあります。テクノロジーがいかに進化し、言葉の意味が拡張しても、ハンドルを回す瞬間の「未知への期待」は変わりません。これからのガチャポンがどのような驚きを私たちに見せてくれるのか。その未来を、ぜひ皆様自身の目で見届けてください。

この図録が、ガチャガチャを単なる「おもちゃ」ではなく「時代を映す文化資料」として捉えるきっかけとなれば幸いです。

# ようこそ！しかけ絵本の街へ

## コーナー概説

仕掛け絵本の構成やジャンルごとの特性をテーマとしています。視覚的に楽しめたり触覚を刺激されたりする様々な仕掛けを通じて、来場者が没入できる空間づくりを目指しています。また、実際に触ることのできる仕掛け絵本も展示することで、児童期のワクワク感や懐かしさを想起できると考えています。古くは江戸時代からはじまった仕掛け絵本が現代ではどのように展開されているのか、実物に触れて感じてもらえると嬉しいです。

## 展示構成

1. 仕掛け絵本の歴史
2. 展示資料
3. 体験コーナー
4. 参考文献

### 1. 仕掛け絵本の歴史

#### 〈西洋〉

西洋における仕掛け絵本の起源は、現代の「絵本」というジャンルが成立する以前の、13世紀頃の科学書や専門書にまで遡ることができます。当時の仕掛けは娯楽目的ではなく、実用的・学術的な目的で使われていました。13世紀のヨーロッパでは、天文学や占星術の分野で「ヴォルヴェル（回転円盤）」が導入され、天体の運行を計算・予測するための道具として活用されました。また、15世紀の解剖学書では「フラップ（めくり仕掛け）」が用いられ、人体の内部構造を視覚的に説明し、理解を助ける役割を果たしていました。その後、17世紀以降になると、こうした仕掛け技術が子ども向けの書籍にも取り入れられていきます。背景には、啓蒙主義の広がりによって「子どもを教育すべき存在」とする考え方が生まれたことがあります。そこで、教育的な目的を持つ絵本として、自然科学の知識などを楽しく学べるような仕掛けが工夫されました。さらに、識字率の向上や印刷・製本技術の発達、産業革命による商業出版の活性化が、仕掛け絵本の普及を後押ししました。18世紀後半のロンドンでは、ロバート・セイアやS・A・アッカーマンといった出版業者が子ども向けの「フリップ・アップ」型の絵本を発行し、これが「ハーレクイン絵本」と呼ばれる初期の子ども向け仕掛け絵本の原型となりました。これらは教育と娯楽を兼ね備え、当時の演劇などを題材にしながら人気を博しました。つまり、西洋の仕掛け絵本は、13世紀に学術的な実用書として生まれ、18世紀後半には教育・娯楽を兼ねた子ども向け絵本として確立したといえます。



## 〈日本〉

日本において、仕掛け絵本はおもちゃ絵に由来すると考えられます。江戸時代に円盤型のしかけをもつ学術書が作られ、明治から大正期は布製絵本、大正12年には動く絵本が作られました。昭和に入ってから、折り畳みとポップアップ(飛び出し)を複合させたシリーズや表紙に工夫を凝らしたものが出版されています。児童向けのものは、欧米の仕掛け絵本に触発されて大正期以降に発展したといえます。玩具文化の多様化と児童雑誌の付録を通じて基礎が築かれ、戦前には輸出玩具として紙の加工技術が発達し、戦後は印刷・製本技術の向上により大きく進化しました。現代では、乳幼児の五感と指先の成長を促す知育ツールとしての役割が主流です。また、ロバート・サブダらの影響を受け、複雑な構造を持つ芸術性の高いポップアップ作品も普及し、耐久性もある遊びと学びのメディアとして多様化しています。

## 2. 展示資料

『別冊太陽 日本のこころ260 しかけ絵本 飛び出す、ときめく、遊ぶ、楽しむ』の絵本のジャンル分けを中心として、4つのテーマに沿って作成しました。

### 〈飛び出す〉

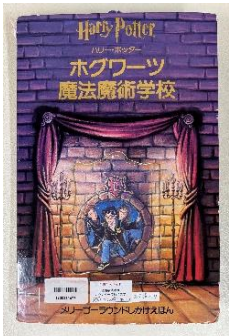
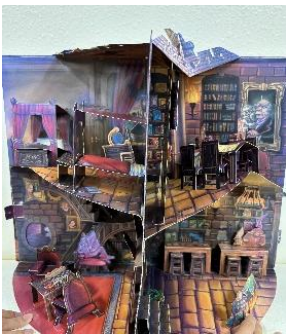
二次元の絵本から立体が飛び出すものです。本を開くと立体が飛び出す「飛び出す pop-up」、開くと三層仕立ての舞台になっている「舞台 theater」、建物内を場面転換したものやペーパークラフトに近い造りになっており、360°どこから見ても楽しめる「360° carousel book」、絵本を開くと飛び出す切り絵が立ち上がり、一場面のシルエットを描いている「シルエット silhouette」などのジャンルに細分化されています。今回は、「舞台」と「360°」の作品を展示しています。

出品例：

『ピーターとおおかみ』（「360°」）

『ハリーポッター ホグワーツ魔法魔術学校』（「舞台」）

『ピーターとおおかみ』（大日本絵画、2002年）ぶん セルゲイ・プロコフィエフ え バーバラ・クーニー やく きたむら まさお	主人公のピーターが、柵の外のオオカミと対峙する物語です。立版古のように背景や家、人が何層にもなって、奥行きを出しています。紐や切り抜きを使って、物語とリンクした仕掛けも複数あります。
	



<p>『ハリーポッター ホグワーツ魔法魔術学校』（株式会社 静山社、2002） 著者 J.K. ローリング イラスト ジョー・ボー</p>	<p>講堂、寮の部屋、教室、魔法の部屋の4種類の舞台があり、360°どこからでもハリーポッターの世界が楽しめる構造になっている。好きなところに登場人物を置いて、物語を自分で作れるようになっている。</p>
	

〈めくる、ひらく〉

フラップをめくったり、つまみを引っ張ったり、しかけを動かすことで新たな光景に出合うものです。フラップをめくすることで、本来は見ることができない中身を知ることができる「めくる flap」、つまみを引っ張ったり、ディスクを回したりするとキャラクターや物が動く仕掛けの「ひっぱる、まわす pull, turn」、次の展開や建物の中身などを、折り込みを開くことでわかる「ひらく unfold」、手ざわりの素材を用いて手で楽しむ「さわる touch」等の種類があります。簡単な仕掛けが多いので、『別冊太陽 日本のこころ 260 しかけ絵本 飛び出す、ときめく、遊ぶ、楽しむ』では、幼児向けの絵本がよく紹介されていました。今回は、「めくる」を展示しています。

出品例：

『仕掛け絵本図鑑 動物の见ている世界』（「めくる」）

<p>『仕掛け絵本図鑑 動物の见ている世界』（株式会社 創元社、2014 年） 著者 ギョーム・デュプラ 訳者 渡辺 滋人</p>	<p>それぞれの動物の見え方を「めくる」という仕掛けによって描かれています。始めに視野、色と光、視力に関する説明があり、各動物の「めくる」の裏にもその観点で解説が書かれています。</p>
	

### 〈穴あき、切り抜き〉

頁に開いた穴は、場面を構成する一部でありながら、次の場面をのぞかせます。頁の一部を切り抜くしかけもまた同じです。主に食べ物や背景、言葉の一部のくり抜きをしている「穴あき hole」、一部を切り抜くことで頁をめくると場面が変わる「切り抜き cut-out」の二種類に分けられます。今回は、『別冊太陽 日本のこころ260 しかけ絵本 飛び出す、ときめく、遊ぶ、楽しむ』でも紹介されていた「穴あき」の『はらぺこ あおむし（ビッグブック）』を展示しています。

出品例：

『はらぺこ あおむし（ビッグブック）』（「穴あき」）

<p>『はらぺこ あおむし（ビッグブック）』（偕成社、2005年）エリックカール作/もり ひさし訳</p>	<p>小さなあおむしが食べ物を大量に食べ、サナギを経て美しい蝶へと生まれ変わる、生命の成長を描いた物語です。特大サイズと穴あきしかけが臨場感を高めます。数・曜日・生命の成長の学習を、特に集団での読み聞かせにおいて効果的に促します。</p>
	

### 〈視覚で遊ぶ〉

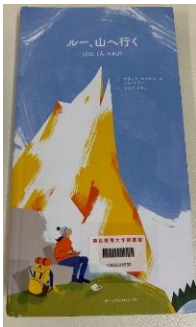
作家たちは、鏡、フィルム、アニメーションなどの視覚を惑わすギミックに果敢に挑戦してきました。フィルムをめくことで中身が見えたり、半透明の紙を挟むことで作品の雰囲気視覚的、触感的に表現する「透明&半透明 translucent」、カラーフィルムを使用することで違う景色を見ることができる「カラーフィルム&レンズ color film&lens」、スキャニメーションやスリットアニメーションを取り入れた「アニメーション animation」、立体空間を作り上げる「鏡 mirror」、蛇腹でつながれた複数のプレートのをのぞくことで奥行きが感じられる「のぞく peek」、絵本が一枚の蛇腹折りになっており、伸ばしたり縮めたりして見ることができる「じゃばら panolama」などがあります。今回は、「のぞく」、「じゃばら」を展示しています。また、本項目に関連する絵本を来場者に実際に触ってもらうサンプルとしても展示予定です。



出品例：

『ルー、山へ行く』（「のぞく」）

『おみせやさん』（「じゃばら」）



<p>『ルー、山へ行く』（KTC 中央出版、2021 年）作 アヌック・ボワロベール、ルイ・リゴー 訳 内田沙矢子</p>	<p>主人公のルーが、オオカミに会いに山へ行くお話。立版古のように山の景色が立体になっており、実際に山に行った気分になれます。山に行っていない場面との繋がりを感じさせるように切り抜きの仕掛けもあります。</p>
	


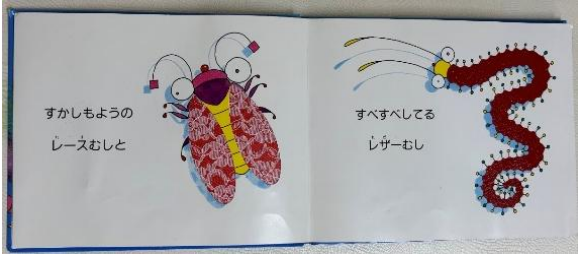
<p>『おみせやさん』（ほるぷ出版、2008）五味 太郎 作</p>	<p>文字のない約 4 メートルの屏風絵本であり、次々に描かれた様々なお店や街の風景を、読者が目で追い、自由に想像して遊ぶことができます。巨大な絵本でのごっこ遊びを通し、想像力と語彙・表現力を拡張します。</p>
	

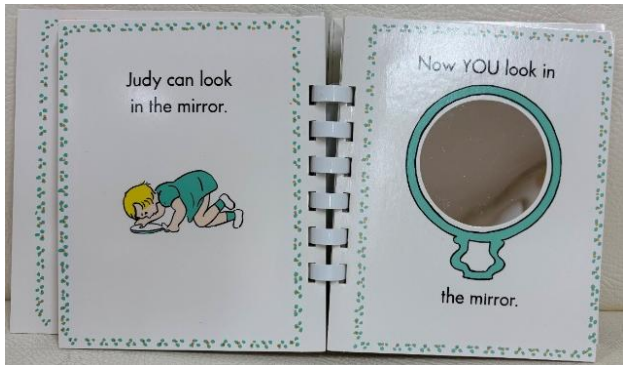
### 3. 体験コーナー


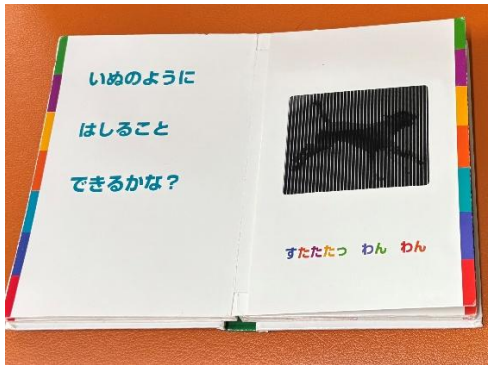
来場者に実際に仕掛け絵本を手にとって体験してもらうために、展示ケースの横に椅子を置いたコーナーを用意しています。主に〈めくる、ひらく〉、〈視覚で遊ぶ〉の分類に入る絵本を取り扱っています。〈めくる、ひらく〉では、実際に触って体験してもらえるよう「さわる」に該当する『むしむしさわってみよう』、『pat the bunny』を展示しています。〈視覚で遊ぶ〉では、貸し出しを依頼した図書館でも種類が少なかった「スクリーン」の『ギャロップ!!』を展示しています。

出品例：

- ・『むしむしさわってみよう』（「さわる」）
- ・『pat the bunny』（「さわる」）
- ・『ギャロップ!!』（「アニメーション」）

<p>『むしむしさわってみよう』（大日本絵画、2000年）さく デビッド A・カーター やくきたむら まさお</p>	<p>てんとうむしなどの絵に、様々な感触の素材が貼り付けられた仕掛け絵本です。読者が実際に触って楽しめる構成です。触覚と五感を刺激し、虫への親しみやすさを育む効果があります。</p>
	

<p>『pat the bunny』（Golden books、1968年）by Dorothy Kunhardt</p>	<p>ポールとジュディが、ウサギの毛やパパの髭など、ページ上の様々なものに触れる体験、また花の匂いを嗅ぐ体験など五感を刺激する絵本です。触覚や嗅覚といった五感を刺激し、子どもの好奇心と身体的な遊びを促す、赤ちゃん向け作品です。</p>
	

<p>『ギャロップ!!』（大日本絵画、2017年）さく ルーファス・バトラー・セダー やく たに ゆうき</p>	<p>絵本を開くと、スキャニメーションによって動物が動いているように見えます。見開き1ページにつき1体の動物が紹介されています。</p>
	

#### 4. 参考文献

- ・『別冊太陽 日本のこころ 260 しかけ絵本 飛び出す、ときめく、遊ぶ、楽しむ』  
(株式会社平凡社、2018 年)
- ・『変貌しつつある現代絵本事情――一九八〇年代以降――』永田桂子 (2000 年)
- ・「現代の「仕掛け絵本」考」永田桂子 (1998 年)
- ・「幼児のしかけ絵本読みに関する研究」佐藤公代 (2002 年)
- ・『新・遊びの博物誌 1(朝日文庫)』124～130 頁 板根巖夫 (1986 年)

資料出典先

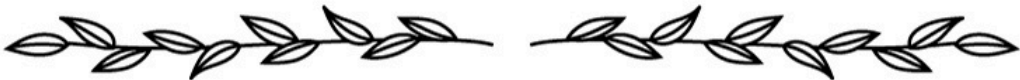
奈良教育大学図書館





# 現代に生きる

# 茶文化



## 目次

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 展示概要</li><li>・ 茶の歴史</li><li>・ 中国の茶<ul style="list-style-type: none"><li>1 小青柑</li><li>2 佛手柑烏龍茶</li></ul></li><li>・ 日本の茶<ul style="list-style-type: none"><li>3 粉末緑茶</li><li>4 桜茶</li><li>5 特上煎茶</li><li>6 ほうじ茶</li></ul></li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ イギリスの茶<ul style="list-style-type: none"><li>7 EarlGrey</li><li>8 English Breakfast</li></ul></li><li>・ インドの茶<ul style="list-style-type: none"><li>9 アッサム</li><li>10 チャイ</li><li>11 シナモン(スティック)</li><li>12 クローブ</li><li>13 カルダモン</li></ul></li></ul> |
|--|---|

## 展示概要

1 杯の茶から広がる世界。

茶は味を楽しむだけではなく、人と人をつなげるのにも重要な役割を担っています。その歴史は紀元前にまでさかのぼります。そもそも茶とはなんなのでしょう。私たちの身の回りの多くの茶は、チャノキという中国西南部及びインド～ベトナムを原産のツバキ科ツバキ属常緑広葉低木を加工した飲み物です。本展示ではチャノキ由来のものをいくつか紹介します。

また展示の際には、私たちが身近でよく飲んでいる茶の起源をもつ中国、インド、イギリス、日本の4か国に厳選し、セクションごとに特集していきます。現在世界中で親しまれている茶がどんなもので、どのような歴史をもつのか、視覚や嗅覚を活用しながら展示を楽しむことで、喫茶文化の面白さを感じてもらいたいです。

# 歴史

茶は、紀元前のころ雲南省西南地域で初めて茶樹が発見されたことから始まります。当時は、現在と異なり葉を食べるもので、葉として用いられていました。紀元前59年に中国の王褒が書いた中国茶の歴史の最も古い記録の一つの『僮約』によると、使用人を雇う立場にあった人々が、日常的にお茶を飲んでいたと推測できる記述があります。

そこから、喫茶の風習が始まったのは、漢時代からだとされています。また、唐時代に行くにつれて中国全土で喫茶が庶民化したことが、最古の茶の専門書『茶経』で述べられています。中国から茶が始まり、平安時代には日本、戦国末期にヨーロッパに広がり、それぞれの国で特色ある茶が成立してきたのです。

## 中国の茶

中国における茶はチャノキの原産地でもあるために非常に歴史が深いです。唐の時代には中国全土に喫茶習慣が広まり、お茶の聖典とされる「茶経」を編纂した陸羽が六之飲の中で喫茶の起源に関して言及したことで茶の祖とされるようになったことからその歴史の深さがうかがえます。

お茶の発祥地ともいわれ、地域や季節によってさまざまなお茶文化を育んできた中国には、数百種類ともいわれるお茶が存在しています。一般的には発酵度合いによって、浅いものから順に『緑茶』『白茶』『黄茶』『青茶』『紅茶』『黒茶』の6種類に分類されます。この6分類を一般に中国茶の『6大分類』といいます。基本的には『発酵していない茶葉は低温、発酵が進んでいる茶葉は高温で淹れると良い』といわれ、味だけではなく香りや茶葉の美しさを楽しめる茶器選びもまた中国の茶を楽しむうえで重要とされます。

本セクションでは、中国茶の実物と共にその楽しみ方を紹介します。

### 1 正宗新会柑 小青柑

チョンゾンシンフワイガン ショチンガン

黒茶（くろちゃ/ハイチャ）の一種である普洱茶（プーアル茶）。

黒茶とは完成した茶葉に微生物を植え付け発酵させた茶のことであり、後発酵茶ともいわれます。熟成香を放ち、お茶をいれた際の水色は濃厚な色をしていることで知られます。

本品は普洱茶の中でも、未成熟の青い蜜柑の中身をくり抜き熟した普洱茶を詰め乾燥させた「小青柑（シャオチンガン）」と呼ばれるものです。茶葉と共に、青い蜜柑の風情にもご注目頂きたい一品です。



## 2 佛手柑烏龍茶

ブッシュukanウーロンチャ

青茶を代表する烏龍茶をさらにアレンジした一品。青茶は発酵途中で火入れを行うことで発酵部分の褐色と不発酵部分の緑色が混じり合っただけで見た目が青っぽく見えることが特徴的な茶です。本品は鳳凰単叢(ホウオウタンソウ)という烏龍茶をベースに佛手柑のフレーバーを付け加えたものです。鳳凰単叢の大きな特徴である芳醇な香りに、佛手柑のレモンピールのような甘く爽やかな香りが加わり、非常に華やかな香りを楽しめます。



## 日本の茶

日本茶の歴史は奈良時代まで遡ります。奈良～平安時代にかけて、遣唐使や留学僧によって唐からお茶が持ち帰られたことが日本におけるお茶の始まりといわれています。当時のお茶は非常に貴重なもので、僧侶や貴族などの限られた人々だけが飲むことができました。

鎌倉時代になると、臨済宗の開祖である栄西禅師が宋から茶の種を持ち帰り、日本各地に茶の栽培を広めました。栄西は『喫茶養生記』を著し、お茶の効能を説き、茶は健康に良いものとして認識されるようになり、茶は禅寺を中心に広がっていきました。この時代に普及したお茶は、粉末状にした碾茶で、現在の抹茶に近い形態でした。また、華嚴宗の僧侶・明恵上人が京都梶尾の高山寺に茶を植え、茶を奨励しました。ここが最古の茶園とされ、寺院を中核とした茶園は京都からさらに広がり、社交の道具としてやがて武士階級にも喫茶が浸透していきました。

南北朝時代には、茶を飲み比べて産地をあてる「闘茶」が流行し、お茶は次第に嗜好品としての側面が強くなっていきます。続けて室町～安土桃山時代では、将軍・足利義満が宇治茶の栽培を奨励し、宇治茶ブランドが確立しました。この頃には覆下栽培もはじまり、より濃厚でうま味・甘味をたっぷりと含んだ高級茶が作られるようになります。また、村田珠光が侘茶を創出したり、これを受け継いだ千利休らによって「茶の湯」が完成したりと、茶道が体系化されていきます。

江戸時代に入ると、武家社会だけでなく、一般庶民にも飲料としてお茶が浸透していきました。しかし、庶民に飲まれていたお茶は、侘茶で用いられる抹茶ではなく、簡単な製法で加工した茶葉を煎じたもので、「煎じ茶」と呼ばれ、味や香りの質が落ちたものでした。そんな中、永谷宗円による新しい製茶技術「青製煎茶製法」が確立され、鮮やかな緑色の煎茶が作られるようになりました。これは煎茶の祖とされ、現在にいたる「蒸し製煎茶」に繋がります。

### 3 粉末緑茶

ふんまつりよくちゃ

粉末緑茶とは、煎茶を粉末状にしたものです。茶葉を粉末にしていることから、お茶を作る過程でビタミンや食物繊維といった緑茶の栄養を捨てることなく、健康にいいと言われています。本品は、大手回転ずしチェーン店くら寿司で使用されている「粉末緑茶」です。飲みやすく、お寿司によく合うため、幅広い世代から人気があります。



### 4 桜茶

さくらちゃ

桜茶とは、桜の塩漬けにお湯を注いだお茶のことです。「桜湯」と呼ばれることもあります。江戸時代において、結納や慶事などのお祝いの席では「お茶を濁す」「茶々を入れる」という意味に繋がるため、「お茶を飲むこと＝縁起が悪い」とされていました。そこで登場したのが桜茶です。お湯を注ぐと桜の花びらがだんだんと開いていく様子が「未来が開ける」、「縁起をかつぐ」とされ、お祝いの席の縁起物として親しまれてきました。本品は、奈良県吉野の山桜から作られた「桜花漬」です。吉野の名産として親しまれている桜茶です。



### 5 特上煎茶

とくせんせんちゃ

緑茶の一種です。日本の緑茶の生産量の7割を占め、最も一般的な種類です。かつては煎じて煮出して飲むお茶のことを煎茶と呼んでいましたが、江戸時代になり日本独自の「青製煎茶製法」が確立され、この製法で作られたお茶を現在では煎茶と呼んでいます。「青製煎茶製法」とは茶葉の中でも新芽だけを摘み取り、摘んだ茶葉を蒸した後、数段階にわたって揉みながら乾燥させる製法



のことで。すっきりとした味わいが特徴で、日光をたっぷり浴びて育った茶葉を使うため、うま味と香りをバランスよく楽しむことができます。本品は、奈良県で作られた「大和特上煎茶」です。香りがよく、これぞ煎茶という味わいです。



## 6 ほうじ茶

ほうじちゃ

緑茶の一種で、独特の香ばしさとまろやかな風味が特徴で、日常の飲み物としてだけでなく、料理やスイーツの材料としても人気があります。

一般的に煎茶や玉露などの緑茶の葉が使われます。その茶葉を約160～200℃の高温で焙煎することで作られるお茶です。この過程により、茶葉の水分が飛び、香ばしい香りが生まれるとともに、

苦みや渋みが軽減されます。本品は、京都の老舗茶舗、福寿園の「朝露ほうじ茶」です。香ばしくさっぱりとした味わいが特徴のほうじ茶です。



## イギリスの茶

17世紀中頃に中国からイギリスへと伝わった。東インド会社が中国から輸入したものが、広まっていきました。当時は紅茶をたしなんでいたのは上流階級の人々のみでした。イギリスで紅茶が広まったのには、王室の影響がみうけられます。当時の王妃、キャサリン・オブ・ブラガンザが紅茶を愛飲していたことによって貴族社会に広まっていきました。

イギリスの茶文化は、17世紀に東インド会社を通じて中国から伝わり、やがて国民的飲料として定着しました。18世紀には紅茶が主流となり、砂糖やミルクを加える独自のスタイルが広まりました。特に19世紀のヴィクトリア時代には「アフタヌーンティー」が社交の場として発展し、ティーカップやティーポットなどの美しい器とともに優雅な習慣として根付いています。今日でも家庭や職場での「ティーブレイク」は日常生活に欠かせず、紅茶はイギリス人のアイデンティティを象徴する存在です。茶は単なる飲み物ではなく、歴史・社会・文化を映す鏡として、イギリスの生活様式を語る重要な要素となっています。

## 7 Earl Grey

アールグレイ

アールグレイは、茶葉に香りを付けた「フレーバーティー」の一種です。その名前には「グレイ伯爵」という意味があり、歴史的な背景を持っています。最大の特徴は、ベルガモットという柑橘系の果実で付けられた、華やかで少しエキゾチックな香りです。本品はTWININGSのEarl Grey Teaです。華やかで軽やかな風味が特徴で、ストレートでもミルクティーでも楽しむことができます。



## 8 English Breakfast

イングリッシュ ブレックファスト

この紅茶は、イギリスでとても人気があり、また一般的でもあるブレンドティーです。この紅茶は、アッサム、セイロン、ケニアの3つの種類の茶葉をブレンドして作られたものと言われています。本品はTWININGSの English Breakfast Teaです。しっかりとしたコクと芳醇な香りが特徴で、ストレートでもミルクティーでも楽しめる万能な紅茶です。朝食との相性が抜群です。



## インドの茶

インドにおける喫茶文化の始まりは1600年にイギリスの紅茶貿易の始まりとなる東インド会社がインドに設立したことによります。それ以前は食用として茶葉を摂取していましたが、インドがイギリスの支配下となり植民地化した際、イギリスが中国よりも近くかつ植民地であるインドで栽培をしようとしたことでインドに中国種のチャノキと喫茶文化がもたらされました。しかしながら、この中国種のチャノキ栽培は気候に合わず失敗に終わっています。これにより東インド会社は衰退しました。

その後インドのアッサムの北東部で自生している「アッサム種」が発見され、ロンドンのオークションにて高品質で優秀な茶葉であるとされます。以降大々的な栽培がインド各地に広まり、結果としてインドは現在、世界一の紅茶生産国です。

## 9 アッサム

アッサムティーとはインド北東部のアッサム地方で採れる紅茶の総称です。甘く芳醇な香りと濃い赤褐色色が特徴的な紅茶で、一般にはミルクティーに向くといわれています。





## 10 チャイ

チャイとは19世紀のインドで生まれた紅茶の楽しみ方の1つです。

植民地時代、良質な茶葉はイギリスに輸出され国内に残るのは粗悪な細かい茶葉のみでした。そのため残った粗悪な細かい茶葉を美味しく飲むために、ミルクそして現地とれるスパイスを入れ煮こんで作る「チャイ」が考案されたそうです。



## 11 シナモン(スティック)

シナモンはシナモンの木の若い枝の樹皮から採取し、束にして放置し発行させることで出来上がるスパイスです。家庭での使用はシナモンパウダーが主流ですが、スティックは紅茶やジュースを飲むときにスプーンのようにして使われてきました。ほのかに甘くスパイシーさが調和し、繊細な香りがすることが特徴です。



## 12 クローブ

クローブの木の夏場と冬場の二回つぼみを採取し、乾燥させて利用するスパイスです。肉の臭みを消す効果がありますが、入れすぎると辛味や苦味が出るため注意が必要です。

チャイに入れた際はその香りを引き締め、後味にほんのりスパイシーな余韻を残してくれます。



## 13 カルダモン

しょうずくの木のさやと種を乾燥させ利用するスパイスです。清涼感のある香りと柑橘のようなさわやかな香りが特徴的で、手で割って料理に使用されます。

チャイにおいても風味の中心となることが多いメジャーなスパイスとなっています。



## 第4章展示「文化財のこれまでとこれから」

～はじめに～

### 序文・「文化財保護の歴史と持続可能な継承への提言」

山本 隆萬

我が国における「文化財」という意識の萌芽は明治維新による西洋化や近代主義による廃仏毀釈の反動的な衝動によるものである。日本のアイデンティティーとも言うべき寺院の仏像・古文書・建造物・美術品などが大量に破壊され、海外流出の事態を引き起こした為に、却ってその価値を痛感する事になったわけである。明治政府は明治4年(1871)5月「古器旧物保存方」の太政官布告を発布した。その趣旨は「自然、古きを厭い、新しきを競い候流弊より、おいおい遺失毀壞におよび候ては、実に愛惜すべき事に候」というもので、非常な憂いを感じさせる。翌年には政府によって奈良・京都ほか近畿圏の古社寺や正倉院の宝物調査が行われ、その調査記録は『壬申検査古器物目録』にまとめられた。こうした働きにより、文化財の散佚を防ぐ事の重要性や博物館建設の必要性も説かれ始める。同15年には専門家による実態調査が開始し、岡倉天心らが調査に加わった。一方内務省では同13年頃から27年にかけて主要な古社寺に保存金を交付し、文化財の維持保存に当たらせた。また文部省では同17年頃から独自に古美術の保存状況調査に着手し、後に宮内省臨時全国宝物取調局と協力して調査を進めた。同年アーネスト・F・フェノロサと岡倉天心が法隆寺夢殿の秘仏・救世観音像を開扉させたのは伝説的な近代美術史の嚆矢を告げるエピソードである。日清戦争後の国家意識の高揚を背景に同30年には「古社寺保存法」が公布され、歴史的・美術的に価値の高い建造物や宝物類を内務大臣が「特別保護建造物」「国宝」等に指定し、保存のための補助金を支出するという今日に近い文化財行政のシステムが出来上がった。古社寺保存法に基づく文化財行政は大正2年(1913)、宗教行政が内務省から文部省へ移管される際、それに伴って文部省の所管となり、次いで昭和4年(1929)には古社寺保存法を廃止して新たに「国宝保存法」を公布し、一般の所有者をも含む「建造物、宝物其ノ他ノ物件ニシテ特ニ歴史ノ証徴又ハ美術ノ模範トナルベキモノ」を国宝に指定し、保存措置を取った。これにより原則、輸出・移出することを禁じ、現状変更も内務大臣の許可を要するシステムへと変更された。戦後間なしの昭和24年1月26日、法隆寺金堂が不慮の失火により焼失するという衝撃的な事件が発生した。これを受け、翌年5月30日「文化財保護法」が公布され、同年8月29日施行された。同法は文部省外局に「文化財保護委員会」を設置し、今日文化財行政を司っている「文化庁」の源流となった。

こうした文化財に関する歴史を辿ると、行政主導による施策が先行してきたというだけでなく、文化財を失うといった経験が民間に大きな衝動として波及した事が分かる。こうした衝撃は文化財への愛護意識とつながり、日本のアイデンティティーとして再認識されてきたのである。

本章では「文化財のこれまでとこれから」と題し、4つの観点から文化財保護の歴史と現在、そして未来についてを考察し、展示した。本展示では前半2つの展示と後半2つの展示で分かれており、前半は「文化財保護の過去と現在」を、後半は「文化財のこれから」をテーマに構成している。

まず、前半には文化財保護の歴史を辿ると共に、現在文化財を調査・修理するその手法について、文化遺産教育専修の学生が実際に文化財と接する際に扱う道具や機器を展示し、これまでに育まれてきた非破壊・現状維持・可逆的処置の理念を迫体験する様子をご覧いただきたい。

次いで後半には美術課程を専攻する学生が制作した既存の文化財を再解釈し、伝統的な絵画技法による作品制作展示と、これから文化財となり得ると考えたものをそれぞれ展示した。まだ文化財と見做されないが、我々の暮らしの中にある何気ないものも100年先、1000年先において継承されれば、2025年現在の生活の営みを知る手掛かりとなり得る。斬新な発想による展示品であるものの、その解釈について納得して頂ける部分も又、大きいと考えている。

本学で展開される「文化財保護」をそれぞれの専門領域にて、今まさに学びつつある学生の追い求める先にある「継承」について、それぞれの考えを展示と結びつけている。その一場面をご紹介できれば幸いである。

## 「文化財保護の理念と修理」

### 第一節 「文化財」を守り、伝えた人々

日本の文化財行政の根幹を作り上げた岡倉天心は、日本のアイデンティティーとして美術の価値を創造した。横山大観や菱田春草といった日本画家を育成し、伝統に裏打ちされた新たな境地を目指す一方、仏像・神像を中心とした既存の古美術に価値を見出し、保存・修理への情熱も注いだ。

奈良の地では帝室博物館の設立を構想し、古典技術の学修を目的とした模刻像を展示品とする考えもあった。また新納を中心とした日本美術院第二部を東大寺内に構えた。現在東京藝術大学となっている東京美術学校は元々奈良美術学校として開校する予定であり、文化財に親しむ環境こそ岡倉にとって理想の地であったのだろう。その理想は今日、奈良教育大学に於いて文化財を学ぶ学生に受け継がれている。



岡倉 天心 (1863～1913)

漢籍や英文を学び、東京外国語学校・東京開成学校(現:東京大学)に入学する。1881年、アーネスト・F・フェノロサと日本美術の調査を開始し、その知見を活かして1890年、日本美術史の講義を行った。『東洋の理想』や『茶の本』で日本の文化的精神を世界に紹介する一方で、東京美術学校や日本美術院で後身の育成に尽力した。



新納 忠之介 (1869～1954)

東京美術学校彫刻科を卒業後、同科助教授を務める。明治30年、東京美術学校が中尊寺修理事業を請け負って仏像彫刻の修理を担当し、仏像修理の嚆矢となる。翌年岡倉の美校辞職に際して辞職、日本美術院創立に参画する。明治39年、修理部門が独立して「日本美術院第二部」を開設する。明治42年、ボストン美術館から招聘されて東洋部顧問となる(写真)。翌年帰国後は古社寺保存会委員・国宝保存会委員に任命される。大正3年に岡倉が没すると第二部を独立させて美術院を設立し、院長となる。大正8年に宮内省帝室博物館学芸委員となり、正倉院の調査研究に当たった。近代修理の理念・技術を確立させた。

「今日も、無理に傷められた仏たち、老朽したり虫や風に悩んだ仏たちが修理所に運ばれてきた。」

(中略)しかしどんなに苦勞であっても、完全に良くしてあげねばならない。」

(西村公朝「秘仏開眼」昭和51年)



西村 公朝 (1915～2003)

東京美術学校彫刻科を卒業後の昭和16年、新納忠之介の誘いにより、美術院に入所。仏像修理者として生涯を通じて約1,300体もの国宝・重要文化財の仏像修理に携わった。また、仏像彫刻家として制作を行い、「祈りの造形」を求めて数多くの彫刻・絵画などの作品を残した。全国各地に作例が遺っている。天台宗の僧侶でもあり、昭和61年延暦寺戒壇院仏師となる際「天台大仏師法印」号を授与された。また昭和39年～58年には、東京藝術大学保存修復技術研究室で教鞭をとり、今日の文化財教育の礎を築いた。

(文・山本 隆萬)

#### 《参考文献》

鹿児島市立美術館「没後50年 新納忠之介展 仏像修復にかけた生涯」新納忠之介展実行委員会,2004  
財団法人美術院「新納忠之介五十回忌記念 仏像修理五十年」便利堂,2003



## 第二節 仏像修理の実例 ～厨子入千手観音立像～

文化財修理の基本は、その対象の持つあらゆる情報を保存する必要がある。その為には可能な限り非破壊による調査・修理が原則である。また美術品としての価値を損なわない為に「現状維持修復」を原則とし、復元などが伴う場合、その根拠を第三者に対して合理的に説明できる事が求められる。修復部分については明確に判別できる様、修理記録が保存・公開されており、像自体と同材ではない材質を選択する事で次の修復時に可逆的処置が採れる様に配慮されている。そうした文化財的価値(※)に配慮しつつ、特に仏像などの宗教芸術の場合、「信仰」という面にも配慮される必要がある。

(※)文化財的価値の価値基準について、文科省科学技術・学術政策局政策課資源室 HP では次の通り解されている。

美的価値…鑑賞していて心地よさを感じるようなエロスとしての美、美的調和など

精神的価値…宗教的信仰、民族など集団の一員としての帰属意識(アイデンティティ)

社会的価値…他者との連帯感、普遍的な共通基盤

歴史的価値…製作当時の生活あるいはその後の時間的経過の反映

情報的価値…製作技法などの情報の貯蔵、またその運搬者として

本物としての価値…オリジナルで、本物としての真正性と完全性が保証されている

### ◎修理実例 ～個人蔵 厨子入千手観音像～



上図:千手観音像 (修理前)

今回私は、以前入手した「厨子」という仏像や仏具を安置する為の箱型の入れ物を伴った千手観音立像の修復を行った。制作年代は本尊に関しては凡そ江戸時代半ばを下限とするものであろうが、厨子は彫刻の意匠や、金箔の質からそれ以前のもと考えられ、両者の間には一定の隔たりを感じさせる。修理は以下の手順で実施した。

①現状記録→② 乾式クリーニング→③ 図面作成・修理箇所検討→④ 湿式クリーニング・剥落止め→⑤ 解体→⑥ 欠損部補作→⑦ 古色仕上げ

① 現状記録 光学的撮影(自然光・赤外線)、法量(寸法)計測

② 乾式クリーニング… ブラシや筆を用いてホコリをおとす

③ 図面作成・修理箇所検討… 必要に応じて図面を作成する。どこをどの程度修理するか修理計画を構想する。

④ 湿式クリーニング・剥落止め… ニカワ湿布をほどこす。遊離部を接着する。



上図:千手観音像 (修理途中)

⑤ 解体… 構造的に解体出来る箇所を取り外し、別途保存処理をおこなう。

⑥ 欠損部補作… 亡失部を木材にて補作する。

⑦ 古色仕上げ… 古色仕上げをアクリル絵の具でほどこす。

### 《修理経過》

現在、⑥の欠損部補作を進行中である。欠損部位は落下片をもとに千手観音の儀軌に則って補作する。本像は正面四手をふくめて40手を有する姿であったが、修理前では5本を残し、落下していた3本を含めた7本が残存していた。従って失われた33本を当初部に倣って補作していく。

また、年代の隔たりがあり、彫刻の鈍化を招いている漆箔を除去するかを検討し、適切に判断して保存修理を進めている。

## 「文化財科学」

### 展示目的

文化財科学という分野は奈良教育大学で長年行われていた学業である。よく文化遺産教育専修という名前でなぜ、卒業免許で社会がなく理科がある理由である。何をしているか分からないともいわれることが数多くある。文化財を調査し守る分野であることをごく一部ではあるが大学の皆さんに示すことを目的としている。



展示物 近赤外線カメラ

そもそも近赤外線とは、みんなが見ている可視光の赤色より長い波長を示して、水分や有機成分と強く相互作用する光で人の目には見えません。赤外線を照射して資料に反射した赤外線を捉えることで、このカメラでは肉眼で見えにくくなったものを材質の違いなどによる赤外線の反射と吸収差を利用して観察できる。近赤外写真で白く写るものは赤外線を反射し、黒く写るものは赤外線を吸収し、赤外線の反射する量が少なくて写される。ちなみに赤外線の波長がより長くなり遠赤外線というものもある。この遠赤外線は俗にサーモグラフィーともいわれる熱の違いを捉えることのできる波長となる。

文化財科学としては、退色や劣化による肉眼で見えなくなった文字や文様の有無の確認や、同じ色でも使用された顔料や下地が異なることがあるため、その顔料の特定の補助的な役割を持つことがある。今回示している写真では上からカメラコントローラ、画像記録装置、近赤外カメラとなっており、使用するときはこれらを接続して使うこととなる。



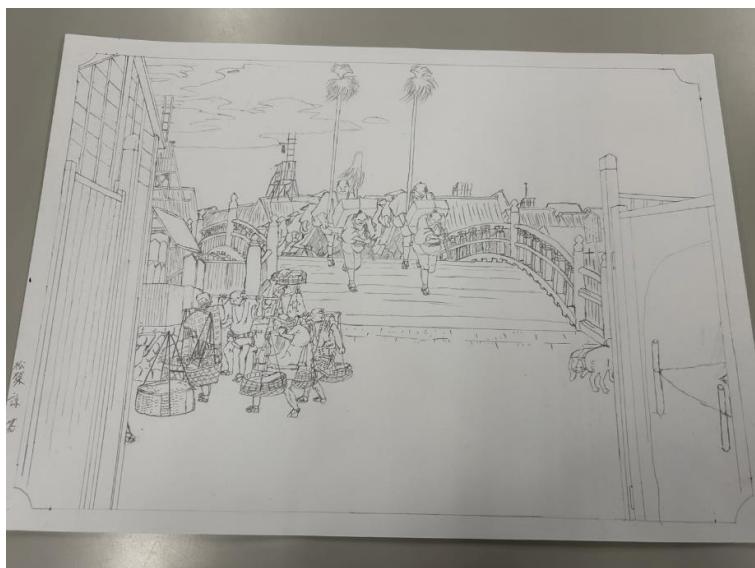
左図 上からカメラコントローラ  
画像記録装置  
近赤外カメラ

(文化遺産教育専修 3 年 小西)

## 「文化財を現代の視点で見つめる」

### 展示目的

前項では、文化財保存修復・文化財科学の視点で、「文化財の今まで」について着目してきた。この2つは私たちが文化財に関わることや、現代に価値を残していくうえでとても重要なものとなってくる。これらを踏まえて、現代において歴史的価値を持つ作品は様々な形でたくさん残されている。その残し方の一つの方法として、私は絵画作品をテーマに従来のオリジナルのものに新たな解釈を含めて、リメイクすることを考えた。従来の画風や構図を崩さず当時とは異なる視点を増やすことで、作品の更なる価値や新しい見方を見出すことを目的としている。作品そのものを残してきた「これまで」から、現代だからこそできることや、その先の文化財の新たな可能性を発見していく「これから」にもぜひ注目していただきたい。



### 展示物

東海道五十三次之内「日本橋朝之景」模写  
及び再解釈したもの

制作年 2025 年

制作者 松榮諒

素材 墨・シャープペンシル(orenz0.5)

八つ切画用紙

原作物(東海道五十三次之内「日本橋朝之景」)

制作年 1833~1836 年頃

制作者 歌川広重

大判錦絵 個人蔵

今回私が取り上げた作品は歌川広重が描いた「東海道五十三次之内「日本橋朝之景」」である。再解釈として加えた部分として、右下に犬と猫が描かれている箇所の木戸の向こう側に透かす形で晒場を描いている。晒場とは、江戸時代では刑罰を受けた罪人が見せしめとされる場所のことである。日本橋の晒場に関する出来事はいくつか語り継がれている。オリジナルの作品や模本、異版の「東海道五十三次之内「日本橋行列振出」」でも木戸の向こう側は描かれていなかった。そのため、この作品の新たな視点・価値を見出すために描くこととなった。当時の街並みを描く江戸期を代表する風景画の一つでありながら、木戸からのぞき込むような一点透視の構図に目が惹かれる。それに加えて実際にあったが描かれなかった箇所を加えたことで、作品と当時の状況のリアリティが増してくる。

### (参考文献及びサイト)

内藤正人「もっと知りたい歌川広重(生涯と作品)」東京美術 2007 年初版発行

竹内清乃 別冊太陽「広重決定版」平凡社 2018 年初版発行

(文化遺産教育専修 3 年 松榮)



## 「未来の文化財」

### 展示目的

私たちが文化財として目にする歴史的価値の高い資料の数々。それらは今に至るまで人々の手によって受け継がれてきたものです。ところが、文化財が必ずしも初めから高価なものや日常生活とかけ離れた別格のものだったわけではありません。むしろ、多くの文化財は元々価値の高さを認められていませんでした。時代の流れの中でその価値が見出され、現代へと引き継がれてきたのです。

つまり、今は一見して価値の認められないものも、文化財となる可能性があるということです。現に私たちの身の回りにも、将来的に文化財となりうるものは数多く存在しています。また、これらの資料を未来へと継承するのは他でもない私たちです。

何気ない日常の片隅に価値を見出し、未来へと継承することで現代に生きる我々ひとりひとりが「未来の文化財保護の担い手」となるのです。

### 展示物



①段ボール戦機 キャラクタープラモデル LBX アキレス

サイズ： 材質：

販売価格：1,100 円(税 10%込み)

発売年月日：2019 年 4 月 13 日(土)

対象年齢：6 歳以上

付属品：アキレスランス・アキレスシールド(各 1)

商品内容：成型品×6, ホイルシール×1, 取扱説明書×1

2011 年よりバンダイが展開する、小型ロボット LBX (Little Battler eXperience)を操作し、戦わせるという世界観のアニメ・ゲームシリーズ「段ボール戦機」のキャラクタープラモデル。なかでも、LBX アキレスはシリーズ内主人公、山野バンが使用する代表的な機体で、剣と盾を持った騎士風のデザインが人気です。

②現代アート作品「誉」

制作年：2025 年

製作者：Fo\$ \$iL

素材：アクリル絵具・水彩絵の具(サクラ)・ポスターカラー・

合板・ラッカースプレー

技法：アクションペインティング



(美術教育専修 3 年 石井)